2019年9月20日　月刊第254号

非核・いしかわ

〒920-0848 金沢市京町28-8　石川民医連労働組合気付
非核の政府を求める石川の会
TEL 076-251-0014　FAX 076-251-3930
http://hikakuishikawa.com/

非核五項目
① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の調印は70か国、批准は26か国（9月15日現在）

1面　参議院選挙後の動向と私たちの課題　小沢隆一
3面　平和のパネル展・感想ノートより
県内自治体の非核・平和施策一覧
4面　憲法を巡る情勢と私たちの課題　小森陽一
4面　平和的生存権と人権としての社会保障
―社会保障レボリューション　井上英夫
5面　原水爆禁止世界大会・参加報告　福岡麻衣子
6面　平和のバトンコンサート　南　久栄
伝えると伝わる　斎藤節子
7面　<独標>桜の下を　池田珠子
編集後記
8面　いしかわの戦争遺跡シリーズ　中西　優
絵手紙コーナー　中山清子
非核・平和の掲示板

【講演要旨】

参議院選挙後の改憲動向と私たちの課題

東京慈恵会医科大学教授　小沢　隆一

非核の政府を求める会常任世話人の小沢隆一さん

二〇一九参院選の意味その結果をどう見るか？

安倍首相は二〇一七年五月三日、改憲勢力の集会で「自衛隊を憲法に明記する改憲をおこない、二〇二〇年オリンピックまでに施行する」旨のビデオメッセージを寄せた。二〇一五年戦争法反対の運動をふまえて市民連合が結成され、市民と野党の共闘や安倍改憲NO！３０００万署名の取り組みにより、これまで自民党改憲案を国会提出させない状況を作ってきた。

二〇一三参院選一人区で野党が得たのは二議席／三一議席だったが、市民と野党共闘が実現できた二〇一六参院選では一一議席、二〇一九年七月の参院選では一〇議席確保することができ、改憲派の三分の二を阻むことができた。

今回の参院選は史上二番目の低投票率（四八・八％）だったが、東北六県のなかでも野党が勝利した四県の投票率は前回比でも落ちていない。東北では選挙陣営が燃えて有権者が応えるという構図となり、安倍改憲NO！の選挙における勝利の方程式といえる。

この運動の支えになったのは市民と野党の共同の発展であり、一三項目の共通政策の合意である。「安倍改憲反対」「安保法制の廃止」「原発再稼働を認めず、原発ゼロ実現を目指す」「消費税引き上げの中止」などを掲げて選挙に臨むことができた。

参院選での共同通信出口調査では「安倍首相の下での憲法改正」には、

花鳥風月

八月六日にボリビア、二九日にカザフスタンが国連に核兵器禁止条約の批准書を寄託して批准国は二六か国となり、条約発効に必要な五〇か国の半数を越えました。国連核廃絶デーの九月二六日には国連本部でセレモニーが開催され、世界の様々な国が条約を批准することが期待されています▼核兵器禁止条約の締結を求める「ヒバクシャ国際署名」への県内首長の賛同者が、今年新たに三人増えて一五人になりました。新たに増えたのは矢田富郎津幡町長、山野之義金沢市長と和田慎司小松市長です。政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める世論づくりのため、自治体との合意と共同を広げる取り組みは重要です▼二〇一九年原水爆禁止世界大会の国際会議宣言では、『核抑止力』論を打ち破る最大の力は、核兵器使用の破滅的結末、非人道性の告発にある。すべての国、とりわけ核保有国とその依存国で、禁止条約の署名と批准を求める多数派をつくりあげること」を呼びかけています▼被爆七五年、二〇二〇年を核兵器禁止条約発効の年にという期待感を持って、地域での行動を一層強化しましょう。（か）

【関連記事三面】

賛成四〇・八%、反対四七・五%。無党派層では賛成二五・六%、反対六三・六%。これが国民の世論であり、希望が持てる世論調査である。

それでも安倍政権は改憲をあきらめていない。二〇一九～二〇二〇年は改憲問題の正念場となる。今後は自民党改憲案の問題点、危険性をしっかりと認識することが大事である。

自衛隊明記　九条改憲

自民党改憲案の当初案では自衛隊について「必要最小限度」の実力組織の表現が使われていたが、最終案では「必要最小限度」が削除された。これまで自衛隊が合憲という重要なキーワードが「専守防衛」であり、「必要最小限度」の文言が削除されたことの意味は大きい。海外派兵、集団的自衛権の全面行使を企図した表現になっている。

現行の自衛隊法では「内閣総理大臣は内閣を代表して自衛隊の最高の指揮監督権を有する」と定めており、指揮監督権の行使には閣議決定が必要である。改憲案では「内閣の首長たる内閣総理大臣」となっており、指揮官は首相一人であり、閣議に掛ける必要がなくなる。首相に自衛隊の統帥権を与えることになり、日米軍事協力を円滑に進めるための必須の体制づくりとなる極めて危険な内容だ。

緊急事態条項と九条改憲は一対

緊急事態条項は、「大地震その他の異常かつ大規模な災害」により、①総選挙や参議院選挙の実施が困難な場合は、国会議員の任期特例を定め、②内閣は国民の生命、身体及び財産を保護するため政令を制定することができる、条項である。

なぜこの緊急事態条項を新設するのか。ねらいは自然災害時ではなく、武力攻撃時に適用可能な政令を想定している。憲法九条のもとでも災害は広く捉えられており、「その他の異常かつ大規模な災害」には、軍事に由来する災害も含まれている。緊急事態条項と九条改憲は一対のものである。

「教育無償化」の思惑

自民党改憲案には教育の役割として「国の未来を切り拓く上で極めて重要な役割を担うもの」が盛り込まれている。憲法二六条では「子どもが教育を受ける権利」「親が教育を受けさせる義務、義務教育は無償とする」と定めているが、改憲案では「国の未来のための教育」と位置づけている。来年から始まる大学や高等学校の「教育無償化」は、授業料の減免措置を受けるためには、大学では実務教育の整備が求められ、執行部のなかに外部理事を入れるなどの条件が課せられる。

従ってこのような減免措置を受けた人は、実務教育に専念することが求められ、物理学や数学、哲学など真理を探究したい人は除外される仕組みとなる。「教育無償化」の思惑は、国民の教育を受ける権利に基づくものではなく、教育への国家の介入が企てられている。

むすび

私たちの九条改憲阻止の取り組みは、アジアの平和実現と密接不可分な関係にある。北朝鮮の非核化をめぐり米朝首脳会談など極めて重要な動きがある。国交正常化、朝鮮戦争終結、平和条約締結という環境を作り出すことができれば、北朝鮮の非核化は実現できる。朝鮮戦争を終結させることができれば、軍事同盟体制（米韓＋日米）における在日米軍基地の存在理由がなくなる。アメリカが辺野古新基地建設を強行するのはアジアにおけるプレジデンス（覇権）を維持するためであり、これを阻止する闘いはアジアの平和実現と密接に関わっている。

憲法九条をしっかり守り、安倍改憲を阻止することを通じて、アジアの平和の実現に協力・貢献していくことが大事だ。九条改憲阻止とアジアの平和実現、軍事同盟体制の打破、核兵器廃絶は、一つながりの課題である。

（非核・いしかわ編集部）

◎九月八日、金沢勤労者プラザで開かれた九条の会・北陸ブロック交流会での講演要旨です。

日本平和大会in沖縄

五十嵐 正博代表を沖縄へ

今年の日本平和大会は一一月八日、九日、沖縄県で開催されます。

安倍改造内閣は「憲法審査会」で改憲案論議に道を開こうと必死になって政権人事をしています。

「辺野古新基地建設の強行」「日米軍事同盟の一体強化」をし、日韓問題では、日本の「侵略戦争と植民地支配」を反省せず、請求権協定は「解決済」と強弁、日韓問題で国民を煽り、安倍強権政治に利用しています。

改憲、軍拡でなく憲法九条を生かし、非核平和の北東アジア実現の政府への転換が求められています。

五十嵐 正博代表を沖縄へ

非核石川の会はこの重要な政治情勢の中で五十嵐正博代表を日本平和大会に派遣することを決定しました。

派遣には約七万円の費用を必要とします。皆さん！派遣費用のご協力をお願い致します。

平和のパネル展・感想ノートより

原爆被害の悲惨さ、次世代への継承を

今年も平和マンガの紹介コーナーを設けました

石川県原爆被災者友の会などが参加する「反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会」が八月二日～一六日、石川県庁一九階展望ロビーで開催した「平和のパネル展」の感想ノートより紹介します。

・・・・・・・・・・・・・・・・

◆戦争は絶対にしてはいけません。本日、広島・長崎の原爆被害の写真を拝見し、被害の悲惨さを改めて心に強く感じました。戦後七四年、段々と戦争体験等が薄れており、このような被爆写真パネルを活用し、若年世代に戦争の悲惨さを継承することは絶対必要です。

◆「原爆と人間」の展示を見てヒロシマ・ナガサキの人達の受けた原爆の災害を改めて私自身の身に受け止めました。今年はヒロシマの日、八月六日にテレビを通して黙祷をいたしました。私たち自身毎日忘れていけないことを忘れてしまうことに申し訳なく思いました。これからも折りにふれて思い出し世界平和を心から祈ります。

◆小学校の頃、中沢啓治先生の「はだしのゲン」を読んでスゴク、ショックでした。核兵器絶対反対です！ 広島・長崎で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

◆「はだしのゲン」は子供の頃に見た（怖くて少ししか）記憶です。今日も少しドキドキして見させていただきました。平和は大事だとつくづく感じさせられました。

県内自治体の非核・平和施策一覧

No.	自治体名	平和都市宣言名	宣言日	非核・平和宣言塔	平和首長会議加盟年月	「ヒバクシャ国際署名」賛同首長	「原爆と人間展」自治体	「原爆と人間展」住民団体
0	石川県	非核石川県宣言	1998年2月20日	なし	―			○
1	金沢市	平和都市宣言	1985年12月21日	記念碑	2009年12月1日	山野之義市長	○	
2	七尾市	平和都市宣言	2006年3月27日	記念碑	2011年1月1月	不嶋豊和市長	○	
3	小松市	非核平和小松市宣言	1998年6月9日	懸垂幕	2016年5月1日	和田愼司市長		○
4	輪島市	輪島市非核平和都市宣言	2006年6月23日	なし	2015年10月1日	梶文秋市長	○	
5	珠洲市	平和都市宣言に関する決議	1995年3月14日	なし	2010年5月1日		―	―
6	加賀市	核兵器廃絶平和都市宣言	2005年12月19日	なし	2016年7月1日		○	
7	羽咋市	平和都市宣言	1988年9月12日	なし	2015年9月1日			○
8	かほく市	平和都市を宣言する決議	2005年3月15日	なし	2012年9月1日	油野和一郎市長		○
9	白山市	核兵器廃絶を求め「平和都市」を宣言する決議	2005年6月29日	宣言塔（4）	2015年8月1日	山田憲昭市長		○
10	能美市	非核平和都市を宣言する決議	2006年3月13日	懸垂幕	2016年7月1日	井出敏朗市長		○
11	野々市市	平和都市宣言	1984年3月19日	宣言塔	2008年2月1日	粟貴章市長	○	
12	川北町	川北町平和都市宣言	1993年6月10日	なし	2013年1月1日	前哲雄町長	○	
13	津幡町	非核平和都市を宣言する決議	1992年3月18日	宣言・標柱	2014年3月1日	矢田富郎町長	○	
14	内灘町	平和都市を宣言する決議	1992年6月11日	宣言塔（2）	2009年3月1日	川口克則町長	○	
15	志賀町	非核・平和志賀町を宣言する決議	2006年3月17日	宣言塔	2013年1月1日	小泉勝町長	○	
16	宝達志水町	非核・平和宝達志水町を宣言する決議	2006年9月21日	なし	2015年9月1日	寶達典久町長	○	
17	中能登町	非核・平和中能登町宣言	1995年12月19日	宣言・標柱	2013年6月1日	杉本栄蔵町長	○	
18	穴水町	平和都市を宣言する決議	1993年6月8日	なし	2016年4月1日	石川宣雄町長	○	
19	能登町	非核・平和能登町を宣言する決議	2005年12月19日	なし	2015年9月1日		○	

2019年9月15日　非核の政府を求める石川の会

（注）2019年度平和事業に関する自治体アンケートでは、珠洲市以外は「原爆と人間展」の開催計画がありました。

中央社会保障学校の学習講演

憲法を巡る情勢と私たちの課題

九条の会事務局長・小森陽一

小森陽一さん
（東京大学名誉教授）

小森さんは、安倍政権の改憲姿勢を時系列でまず解明された。

①二〇一七年五月三日、日本会議へのビデオメッセージで改憲発言。

②二〇一七年八月、市民アクション旗揚げする。

③二〇一七年九月二五日、「国難突破解散」を表明。希望の党・民主党・連合の合体。野党の分断を図る。

衆参改憲勢力三分の二を背景に改憲強行の策動を重ねた。

しかし、その後二年間、野党と市民のガンバリで改憲発議どころか憲法審査会へ改憲案の提示すらできなかった。

④今年七月・三分の二を阻止した力とは、『安倍政権による改憲』の反対を明確にした市民と野党の共闘が大きな力を発揮した。安保法制など一三項目の共通政策と三二の一人区全てで共闘が実現。

⑤安倍改憲NO！全国市民アクションなどが『3000万署名』を掲げ、草の根の運動を粘り強く続けたことが国民世論の形成と拡大に大きな影響を与えた。

⑥安倍政権の選挙戦は政策論争を避け、野党の批判を無視、論点を語らずイメージ戦略の徹底であった。

安倍政権は改憲を諦めていない

選挙後の記者会見で、「安倍政権下の九条改憲に反対」世論が多数派であり、三分の二を採れなかったことに一切触れず、「改憲議論をすべきという国民の審判が下った」と真実を語らず安倍流のウソ発言で、改憲発議に邁進する決意を示している。

安倍九条改憲を急がせる圧力の増大

中東地域の戦争の危機。米国の軍事対決を煽る「有志連合」参加への圧力。米国の戦争への武力行使の加担は、安保法制強行と九条改憲一体の安倍政権の狙いである。

投票率五〇％を割る責任は

「六年半の安倍政治への不信と諦め」の結果であるが、この民主主義の危機を克服し再生するために、私たち一人ひとりの草の根の決起が求められている。参議院選挙結果を三分の二以下に阻んだ市民の運動に確信を持って『3000万署名』を更に推進しよう。

どんな口実があっても、自衛隊の『有志連合への参加』『海外派兵』『軍事力の増強』を許さない闘いが『安保法制の全面発動』を止め、実質的な九条改憲を許さない闘いとなる。

平和的生存権と人権としての社会保障

～社会保障レボリューション～

金沢大学名誉教授・井上英夫

井上英夫さん
（本会代表世話人）

井上さんは、『人権・社会保障・平和主義』＝南アフリカの人種差別政策・アパルトヘイトを廃止したネルソン・マンデラさんの人柄と生き方から講演は始まり、次いで生存権裁判を闘った朝日茂さんのことを詳しく話されました。

朝日さんは「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」、生存権と生活保護法の内容について争った。個人の行政訴訟の闘いであったが、個人の闘いを社会全体の問題として闘う門戸を開いたその意義は大きい。

憲法九条と二五条は一体

平和的生存権を憲法前文「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ平和のうちに生存する権利を有すること」で確認し、九条は戦争と軍備の放棄、二五条は生存権、生活権、健康権、文化権をうたい、憲法九条と二五条は一体であることを強調された。

二五条は日本側の主張で条文化されたこと。また二五条は実質としてすでに改憲され「公助」とされているが、社会保障は公助でも支援でもない。共助、公助論は恩恵の時代へ歴史の逆行がされている。

北欧の社会保障

家族の支援というが、北欧には日本と違い人権の保障がある。人権が保障されるためには、家族一人ひとりの人権が保障されなければならない。それぞれの人生を保障する制度が確立されている。

障害のある人、認知症の人に人間

として当たり前の適切なケアが行われているので、重度の人はいない、問題ない、という。

生活保護法から独立生活保障法へ、改革の必要を痛感した。

憲法九七条

（基本的人権の由来特質）

「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試錬に堪え、現在及び将来の国民に対し侵すことのできない永久の権利として信託された」との条文を読み、九七条は闘争史観であり、今こそ、九七条が認める社会保障レボリューション（革命＝大変革）を起こしましょう。と述べられた。

自民党の憲法改正草案ではこの条文が全文削除されている。

◎八月二九日、石川県教育会館ホールで開催された中央社会保障学校・学習講演を聴講しました。講演録ではありませんのでご了承下さい。

（編集部　川本浩平）

原水爆禁止世界大会in長崎

核がある限り人間が人間らしく生きられない

福岡麻衣子

今年初めて世界大会に参加しました。開会総会や閉会総会の会場はびっしりの人で、立ち見の方も多くいました。ここでは被爆者の生の声、各国の方のスピーチを聞きました。韓国の方は日本と米国両政府はしっかりと謝罪して欲しい。韓国の政府に対しては被爆者保護をして欲しいと。日米韓の政府で「やすらぎの場を作って欲しい」と訴えがあり、今日の政治の問題からとても大きな勇気を出してスピーチしていると感じました。アメリカの方も「原爆被害は三度と誰にもあってはならない」と、ヘレンケラーの言葉を用いて「一人でやる事はちっぽけだが、みんなでやればとても大きな事ができるのでみんなで核兵器断絶に力を合わせましょう」と話していたのが印象に残りました。

浦上天主堂

天主堂周辺にある被爆遺構の石像

二日目の分科会は、「動く分科会＝被爆遺構めぐり」に参加、浦上天主堂に行ってきました。浦上天主堂は爆心地から六〇〇㍍のところにあります。天主堂へ行くまでの平坦は斜めになっています。それは爆風により傾いたそうです。

天主堂は、今は同じ場所に再建されていますが、その左下には以前の天主堂の一部が残っています。原爆の爆風で吹き飛ばされた鐘楼で三〇～五〇㍍下の川をふさぐように落ちていました。重さ五〇トンもあるので当時の人力では移動することが出来ず、やむを得ず残してあったことで、現在唯一の遺構となっていました。大きな鐘楼を見るだけでも十分原爆の威力を、凄まじさを感じることができました。

爆心地公園へも行きました。青空が広がり人々が集まり平和を感じました。八月九日の原爆の日も青空だったそうですが、地面には水を求め、川の水が流れない程に折り重なった人々だったと聞き、今のような平和な日が有難く感じ、何とも言えない気持ちになりました。

私は民医連で働き始めて一二年、これまで様々な原爆に関しての署名を書いてきましたが、いつもどこか他人事のように感じていました。今回世界大会に参加し、被爆者の生の声、被爆遺構、長崎原爆資料館の資料を見聞きしたことで、あの悲惨な戦争、核兵器は許されるものではないと強く思いました。

「核がある限り人間が人間らしく生きられない」という言葉が印象的で、今回世界大会に参加したことで署名活動に補足ができたり、一人でも多くの人に伝えられたらいいなと思っています。

（城北クリニック職員）

◎「二〇一九年原水爆禁止世界大会・石川県参加者報告集」より転載しました。

非核・平和のひろば

西本多美子さん＆でえげっさあ 平和のバトンコンサート

囲炉裏の会　南久栄

「平和が大事。原爆は恐ろしい。」という願いをもった方々がなんと一五〇人も集まりました。受付では「わー！ひさしぶりー」というあいさつを幾度となくかわしました。小さな子供たちも少しいて、廊下ではしゃいでいる姿もうれしかったです。

「平和の子ら」を唄いに来てくださった金沢紫金草合唱団の方々から「小松の底力にびっくり」というお言葉までいただきました。

三二枚も感想文を寄せていただきました。「でえげっさあの歌は初めて聞かせていただきましたが、とっても素晴らしかったです。歌詞もわかりやすくメロディーも美しく感動しました。西本さんのお話も初めてでしたが、生々しくドキドキしながらお聞きし、本当に原子爆弾なんてこの世からなくすべきだと思います。核兵器はもっての外です」という感想文には、主催者の願いそのものを感じ取っていただけ、八月という特別の月に催せたことに感謝でした。

被爆証言する西本多美子さん（石川県原爆被災者友の会会長）

主催者「囲炉裏の会」は今から一四年前の夏、八月小松公演・朗読劇「この子たちの夏」実行委員会メンバーを中心に、取り組み後もつながり続けたいね…と、憲法記念日、敗戦記念日、開戦の日、建国記念日など、戦前戦中と平和憲法ができてからの戦後日本について学び続けている小さな市民団体です。以来「平和への思いを語り合おうよ」「戦前戦中の日本と戦後の日本とどこが違うの」等々、戦争と人間（暮らし、尊厳）にこだわり続けています。

一四年間細々と続けてきましたが、今度の平和コンサートの取り組みを通して感じたことは、ちっちゃいだけではしょんぼりしてしまうことの方が多いけれど、思いの共通する他の市民団体とつながり合って大きく響き合う機会をつくることって大事だね、でした。

囲炉裏の会は一五年目に入りました。「若い世代にどうバトンを渡すか、むずかしいけれど諦めずに続けたいですね。共に力を合わせましょう。各々の場所で、各々のやり方で」というコンサートの感想文に同感です。

今ある平和が壊れないように、を願いろんな響きを集める呼びかけ人に又なれるといいね。オーケストラ・コンサートのような奥深いハーモニーが奏でられるようにまた学び合おうね。

◎八月三一日、小松第一地区コミュニティセンターで開かれた「平和のバトンコンサート」の報告文を主催団体に寄稿していただきました。

「平和の子ら」を歌う
でえげっさあと金沢紫金草合唱団

非核石川の会リレーエッセー

伝えると伝わる

斎藤節子

七月の選挙の頃、うん？・・と新聞を見るたび引っかかった言葉があった。「マクロ経済スライド」。このカタカナだらけの言葉、すんなりわかる人何パーセントいる？といつも思った。月ぎめ新聞購読率が二〇～三〇代では四〇％ぐらいという現状で。駅前でこの言葉を使って演説したら、私なら「なんか難しいこと言うとるわ、関係ない！」とさっさと通り過ぎるだろう。

マクロ経済ってなんやいね！スライドって、上下、左右どちらにも動くことだろう。私なりにこう考えた、「全般的経済状況に伴う年金下降方式」。

厚生労働省の報告では年金が上がるってことはない。孫・子の時代には

三割減るぞ、ということなのだ。言葉は相手に伝わってなんぼのものだろう。伝えているつもりでも、相手によりけりだ。

モナリザの図版を見せて問う。「この絵、皆さん知っていますね？」大方の人が頷いて手を挙げた。今度は隠して「ではどちらの手を上にして重ねているでしょう？」「着ている服の袖は長いですか？短いですか？」たちまち詰まった。

これは視覚障害者の方々のガイドとなって絵の鑑賞を共にした人が自分の経験から投げかけた質問だった。伝えたい相手の経験や知識に配慮しなければ、一生懸命でも言いたいことが伝わらないと。

パブロ・ピカソ「ゲルニカ」（1937年）

一方、こんな経験もある。ピカソのゲルニカについてである。あのモノクロで、馬や人が空爆されている3m半×7m余という大きな絵である。私は五分以上は見なかった。巨大で、怖くまがまがしいので長く見ている気になれなかった。しかし今の気持ちは違う。

原田マハの作品に「暗幕のゲルニカ」がある。この小説、文庫本で五〇〇ページほどあって、読みやすくもなかった。でもやめられなかった。

ヒロインの有能な女性キュレーター（学芸員）がスペインから本物のゲルニカを借りる交渉に成功するかも！と言う段階で誘拐されるという娯楽的な展開もある。題名の一部「暗幕」の使い方も実にうまくてなるほど！とうなった。

読み進んだ甲斐があった。ゲルニカは「世界の宝」という作者の熱い思いがギュウギュウ伝わってきた。今度、もしゲルニカを見る機会があったら目をそらさず、じっくり見るぞ！という気になった。

詩人会議かなざわ「独標」より

桜の下を

池田珠子

なんで私ばっかりだろうね
いったい何時になったら
消した線香の煙が薄まり
両開きの戸を締めた時
かすかな話声を聞いた気がした

行き先も分らず案内板もない山道を
迷いながら駆けて来た
仕方ないと自分に言い聞かせても
繰り返し降りかかる火の粉を
防ぐ術もなく
胸張って抗う事さえできなかったのは
弱くて若かっただけではないけれど

時に傷跡が疼いて
こぼれそうな愚痴を引き戻し
絡み付いたしがらみを毟るように
手をあわせた　あの朝の声は
先祖ではなく
たぶん　内なる自身のつぶやき

どんな困難もいつか必ず
乗り越え　少しずつ忘れていく
数式や科学で表せない
忍耐と生きる力とを秘めている
悩みなど何処にでもある
ありふれた日常にすぎない

そして日々変化していく
誰かと比べても
自分だけが特別不幸でもなくて

幸と不幸は隣りあわせ
手をつなぎ　こっそり後をついてくる
時に受け入れ
目をつむり関わらずにやり過ごす
寂しくても多忙な時を捲り
とりとめのない危うさにためらい
不安は吹き流し
そよ風のように

待ち望んだ陽光
満開の桜の下を
けたたましくサイレンが過ぎていく

編集後記

九月一一日の新聞各紙を見て、身の引き締まる思いをした。

●北国新聞＝福島第一原発「海に放出しかない」／処理水で、環境相が意見

●北陸中日＝環境相の所管外だけど、原発処理水「放出のほかない」。

●日刊赤旗＝原発汚染水、海に「放出しかない」／原田環境相が無責任発言。

新環境相・小泉進次郎を鳴り物入りで紹介する日本メディアの報道姿勢が、事態の真実を歪め、海洋日本の未来を汚すことのないよう祈るばかりだ。（こ）

新シリーズ①
いしかわの戦争遺跡めぐり

フォトグラファー　中西　優

曽々木の防空監視哨（輪島市町野町曽々木）

窓岩のダイヤモンド夕日

輪島市の曽々木海岸にある窓岩は秋になると、夕暮れ時に岩の隙間から夕日が顔を出す「ダイヤモンド夕日」という現象が見られる注目の絶景スポットです。

その一方で戦時中には、見晴らしの良さからすぐ山手の物見山に防空監視哨と呼ばれる敵機・敵船を監視する施設が設置された場所でもあります。しいのき迎賓館（金沢市）、空とこども絵本館（小松市）など現存する有名施設にも監視哨が置かれた記録があり、戦争の記録として残っています。

（編集部より）

三年間連載した「石川の地域点描シリーズ」は、本号より、「いしかわの戦争遺跡めぐり」として新シリーズを掲載することになりました。

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班

中山清子

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	内　容	会場
9	23	月・休	10:30	国連・核廃絶デー／反核医師の会　ピースな楽校	金沢市香林坊・石川県教育会館2階和室
			13:30	国連・核廃絶デー／アーサー・ビナード講演会	金沢市香林坊・石川県教育会館3階ホール
	25日(水)～26日(木)			日本高齢者大会in福島	福島県郡山市磐梯熱海温泉
	26日(木)～27日(金)			国賠同盟北信越ブロック交流会	富山県朝日町・料理旅館紋左
	27	金	18:30	講演会「朝鮮半島の非核化と北東アジアの平和の構築は」／講師　川田忠明さん	金沢市青草町・近江町交流プラザ4階
	28日(土)～29日(日)			平和委員会北信越ブロック交流会	石川県津幡町・倶梨伽羅塾
10	2	水	12:50	103回　怒りの昼デモ	金沢市香林坊・四高記念公園教育会館入り口
	3	木	18:30	原発なくす石川県連絡会　総会	金沢市青草町・近江町交流プラザ4階 研修室1
	5	土	14:00	金沢紫金草合唱団19周年記念コンサート　合唱と語り 語り・志田弘子さん「染にこめたいのちの想い」	七尾市小丸山台・石川県七尾美術館アートホール
	9	水	12:30	核兵器廃絶国際署名6・9 署名行動	金沢市武蔵町・エムザ前
	16	水	12:50	104回　怒りの昼デモ	金沢市香林坊・四高記念公園教育会館入り口
	30	水	12:50	105回　怒りの昼デモ	金沢市香林坊・四高記念公園教育会館入り口
11	3	日	13:30	平和憲法公布73周年記念県民集会／講師　伊藤千尋さん	金沢市三社町・石川県女性センター・ホール
	6	水	12:30	核兵器廃絶6・9署名行動	金沢市武蔵町・エムザ前
	8日(金)～9日(土)			日本平和大会in沖縄	沖縄県那覇市・豊見城中央公民館大ホール
	29日(金)～12月1日(日)			日本のうたごえ祭典in京都	京都市・ロームシアター京都・他
	30	土	13:00	美ら海講演　オール沖縄共同代表・高里鈴代さん	金沢市三社・石川県女性センター2階大会議室
12	7	土		非核の政府を求める会シンポジウム	東京都内

＊祝日は休日とします　＊毎週金曜日 18:30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口　＊毎月15日石川県沖縄連帯デー 12:00

＊会報「非核・いしかわ」サポート会員を募集中　年会費 2,000円　ゆうちょ銀行口座　00760－0－15689